

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	サザンWinG			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 21日 ~ 2025年 10月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	2025年 10月 21日 ~ 2025年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 10月 31日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	「5領域」を含めた支援の提供をしている。	日替わりで1日30~40分の講座を実施している。 (読み聞かせ・制作活動・英語・ヨガ・体操・感覚統合・花育・アート講座)	活動を通して個々の5領域を分類し強み弱みを細分化し支援の充実に努めたい。
2	学校、家庭、放デイの連携をとっている。	日々の悩みや、学校でのすごし方など、同じ方向性をもって支援していくように連携を取っている。保護者様はいつも自分の子供の様子を見に来ることができる。担任の当事業所を見学し、事業所は積極的に学校参観している。時間を設け話し合い共有している。	定期的な会議の開催はある年ない年があるので、毎年定期的に行なっていきたい。また、見学についても担任によって様々なので毎年見学に来ていただけるよう参加しやすい行事を計画していく。
3	長期休暇日は、地域との交流、社会体験が出来るよう計画・実施している。	季節の行事、工場見学、地域のボランティアさんの訪問、介護施設の交流を実施している。	地域のイベントなどに参加し、交流を深め子供たちにとってインクルーシブな環境づくりをしていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ペアトレ、利用者の兄弟向けのイベント、保護者会等の実施が定期的にされていない。	働いておられる保護者の方が多く、平日にい開催して支障がないのか心配です。むやみに保護者向けのイベントが開催できない。	年に1回は子共たちのご家族様みんなで事業所に来てもらい他の家族様などとの交流ももてるようにしていきたい。
2	事業所が集合住宅にあり、設備変更対応が困難であり、現時点では車椅子を使用する際は受け入れが出来ない。	4階建てのアパートの1階であるため、他の住人の方への配慮すべき点もあり、うるさいなど言われる方もいる。玄関が共同であり事業所単独での増改築ができない。	車椅子の方を現状では受け入れ出来ないので、法人全体で考えていかなければならぬ。
3	事業所内にはワンフロアであるため、低学年・高学年の共存で課題が残る。	登所時刻の差などによって、宿題等勉強を行う時間帯に差があり、利用者がお互いの活動の邪魔をしないよう活動する必要があるが、遊ぶ場所と勉強に取り組む場所が繋がっており、会話や物音の問題がある。	利用者の活動スペースの隣の事務所の奥の机で集中できるような勉強スペースを設けているが、全員が活用できるような工夫を検討する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	サザンWinG
------	---------

公表日 2025年11月日

利用児童数 18名(16世帯)

回収数 16/16

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	2			未回答1	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	1	1	●一人一人に宿題などで手がかかる時に、職員の数が不足していると感じる(いいえ)	利用者全員が安全に療育を受けられるように、職員の配置や個別での対応の方法など検討していきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2		1		サザンWinGに登所して、自然と荷物の準備を行えるようにロッカーや机の配置を設定したり、当日の活動予定が一目でわかるようにホワイトボードを配置しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1	1			
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2		1	●子どものことをすごくよく理解して下さり本当に安心しています。(はい)●息子に合った対応や声かけをして下さり、意識的に行動することが少しずつ家でもできてきました。ありがとうございます。(はい)	ありがとうございます。この状態を継続していきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15			1		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	13	1		2	●移行支援とは？(わからない)	サザンWinGでは、利用者が将来に地域の一員としての役割の発揮や地域への社会活動への参加・交流が行うことができるような活動の実施(畑作業、地域清掃、その他の体験活動)などを移行支援として行っています。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1			●子供が楽しめる活動や行事を考えて下さり、ありがたく感謝しています。(はい)●毎日違った活動を取り入れて下さり子供たちが楽しく過ごせるように工夫して下さっています。(はい)●とても色々な活動プログラムを組んで下さり毎日通うのがとても楽しいみたいです。(はい)	「5領域」を含めた支援を引き続き行っています。児童の体調・意見などを考慮しつつ無理なく児童本人に季節や時流を感じていただけるように、また保護者にも満足いただけるような活動を実施していくよう引き続き尽力していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	9	1		6	●他の事業所との交流で友達ができると喜んでいます。(はい)	長期休暇中には、法人つばめ会の他事業所との交流行事などを行っています。2025年夏休みには他事業所にサザンWinGを訪問してもらい、一緒にそうめん流しを行いました。今後も活動内容が伝わるよう尽力していきます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	1		2		

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2		5	保護者様の相談対応や支援の実施などについては個別に行ってています。保護者様も参加できる行事については、随時実施を検討していきます。	
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	2		●ノートや送迎時などにその日の様子や活動など知らせてくださるので安心です。(はい)●お迎えや送迎の際に今日の報告をして下さるのでとても理解できています。(はい)	ありがとうございます。今後もこの状態を継続していきます。	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	3		2	●いつも相談にのって頂いたり、助言して頂き、子供の様子もわかるので助かっています。(はい)	ありがとうございます。今後もこの状態を継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15	1				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6		4	6		保護者同士で交流ができるよう、保護者同伴、利用者の兄弟も同様にみんなで参加できる行事・イベントの実施を計画しております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	2	1		未回答1 ●学校での困っていることや相談なども親身になって相談にのって下さり一緒に考えて下さり本当に心強いです。(はい)	ありがとうございます。要望があればさらに努めています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1			未回答1	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	12	1	1	1	未回答1 ●毎月行事予定や日々の活動などが行われているので安心です。(はい)	今後も、わかりやすい形で保護者様に発信していけるよう努めています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			3	未回答1	事業所内で個人情報の秘密保持を徹底するように、職員へ周知しています。事業所内では、鍵付き書庫を設置し重要な情報を保管しています。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			5	未回答1	災害及び感染症に対するBCPを法人つばめ会HP上にて記載しています。 つばめ会ホームページ/重要お知らせ(https://www.tsubamekai.com/blank-8)
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			4	未回答1 ●定期的に避難訓練などが行われているので安心です。(はい)	定期的に、地震想定および火事想定の避難訓練を実施しています。子供たちにも訓練の意義が伝わるよう、訓練の前には軽い講義やクイズなどを実施したり、長期休暇中には防災センターへの外出で防災について学ぶ機会を設けています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11			4	未回答1	問23同様にHP上にてBCPを公表しています。また、利用者の支援の状況に応じて、安全に活動できるよう個別に対応・支援しています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	1		2	未回答1	利用中に、事故・けがが発生した際には、できるだけ保護者様に連絡がつく方法で、速やかに連絡を行います。緊急ではない場合には、送迎時や連絡ノートでの連絡を行っています。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15				未回答1 ●学校で嫌なことがあってもサザンWinGで安心する場があるので本当にありがとうございます。(はい)	ありがとうございます。利用者と保護者が安心できる環境を継続していきます。
満足	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1			未回答1 ●毎日楽しみにしています。(はい)	ありがとうございます。この状態を継続していきます。

度	29	事業所の支援に満足していますか。	15			未回答1 ●とても満足しています、ありがとうございます。 ●長期休みには色々とイベントがあり、 子供も予定表を見ながら楽しみにしています。 給食の提供もありがとうございます。 (問27~30はい)	ありがとうございます。この状態を継続 していきます。
---	----	------------------	----	--	--	---	-------------------------------

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	サザンWinG	公表日	2025年 11月 日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2		
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2		基準人員である。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	1	利用者が登所後スムーズに連絡ノート提出、宿題への移動ができるように、帰所する際に片付けや忘れ物のチェックがしやすいように設備の配置・張り紙による視覚支援を行っている。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	2		毎朝または、降所後に清掃を行っている。事務スペースや宿題をするスペース、活動をするスペースは繋がっているが分けられている。
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2		宿題時には、事務所奥のスペースを貸し出したり、調子を崩した際には個室やテラスでクールダウンすることができる。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	2		毎月の職員会議にて行っている。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2		支援時間の前後および毎月の会議で情報共有を行っている。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		職員が受ける研修の費用の補助、および社内研修を実施されています。
支援体制	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2		法人づばめ会の支援アプローチとしてHP上に公表されている。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	2		
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2		
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	2		

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2			
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	2		基本的には曜日に応じて講座が割り当てられているが、子ども全員に活動に参加できるよう、毎月講師と打ち合わせをして日程の調整を行っている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	2			
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2			
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2		翌日になることもあるが共有を行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	2			
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	2			
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2			
関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	2			
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		2		
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	1	1		
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	1		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		2		
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	1		
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2		送迎時など保護者と対面する際に報告したり、連絡ノートで1日の出来事を伝えている。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特レーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	1	研修としてではないが助言を行っている。	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2		重要事項説明書を確認しながら直接説明を行っている。	

保護者への説明等	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2			
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	2		6か月に1度の面談の際に、経過の確認を行い、方針を決め後日作成した計画に同意いただいている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2		開業時間内であれば、事務所内で面談の対応している。	
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	1	保護者様や兄弟も参加可能なイベントを設け、交流を深める機会を設けている。	前年度（2024年）はサザンWinGの事業所での保護者参加企画ママカフェは実施しておらず、児童のみのクリスマス会を行った。今年度は保護者参加のママカフェを実施予定である。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2			
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	1		
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2			
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	2			
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	2			
	49 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2			
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2			
	51 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2			
	52 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		都度内容対応について連絡し、毎月の会議でも件数や内容について共有している。	
	53 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2			
	54 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2			